

# 2016年度(平成28年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(4)番 福山市立 鷹取 中学校

## 1 授業の現状

- ・授業規律が十分徹底できておらず生徒の主体的な授業になっていない。
- ・個人思考をしてもそれを表現する場面が少なく集団思考につながっていない。

転換

## 2 めざす授業の姿

- ・地域と主体的に関わり、地域の良さを実感するとともに、地域や世界をより良くするために考えたり、行動したりしている。
- ・事実や自分の考えを、根拠を明らかにし、比較・分類・関連づけなどの考えるための技法を活用して、適切に説明している。
- ・班、学級、生徒会、部活動等の集団において、課題解決をめざす活動を行い、お互いが関わり合い、学び合っている。

## 3 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中一貫「授業づくりカリキュラム」(課題発見解決学習)の徹底</li> <li>○ブロック研修での確認事項の徹底</li> <li>○集団づくり「鷹取システム」の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相互授業参観を2度実施し、全員がアクティブ・ラーニングを行った。また、校内研修でルーブリック評価を作成した。</li> <li>○各教科で研究授業に向けて教材研究を行い、指導案の統一も図った。</li> <li>○学年内で班長会や合同学活を行う等、鷹取システムを徹底させた。また、3学年の学活交流も行き、1、2学年の班長に参観させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究グループを結成し、グループ内で略案を基に授業参観・協議を行う。課題点を出し、次の授業者へとつなげる。</li> <li>○作成したルーブリック評価を基に、課題発見・解決学習となる指導案を作成する。</li> <li>○班長会や学活交流は継続した上で、授業前の黙想を取り入れる。また、行事を通して縦割りを動かし、集団づくりを図る。</li> </ul>			

## 4 取組の結果

数値は2016年(H28年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	73.5(-3.1)	66.4(-1.5)
数学	55.8(-6.3)	38.0(-6.8)

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプ I	タイプ II
国語	71.7(-0.1)	56.3(-4.3)
数学	69.7(+0.1)	58.2(+0.9)
理科	57.0(+2.6)	49.6(+1.3)
英語	72.4(-0.2)	51.7(-1.3)

体力・運動能力調査 (網掛は県平均以上)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	2mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	2mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	25.69	30.06	44.19	53.72	77.84	7.78	186.2	16.16	1年	24.19	25.38	47.68	45.62	53.68	8.67	166.3	12.05
2年	30.71	32.93	53.45	57.10	80.00	7.57	205.1	19.86	2年	25.24	27.79	54.16	47.39	59.74	8.67	165.6	12.74
3年	36.15	36.68	53.70	62.21	88.57	7.16	225.0	21.91	3年	25.94	30.37	52.38	47.90	51.02	8.60	168.5	13.15

\*空欄には、20m シャトルランか持久走のいずれかを記入

「基礎・基本」定着状況調査 (生徒質問紙調査)(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	51.3	35.5	53.9	28.9	44.7	31.6	55.3	31.6
学校が楽しい	よく 64.5		やや 22.4					